

町の移住・定住政策を問う



質問者
飯田 一 議員



松田町では人口減少に歯止めをかけ、人口増加を図るべく様々な対策を講じています。

その現状と今後の課題について、お考えをお伺いします。

質 今年度も約半年を過ぎようとしていますが、寄地区定住促進奨励金を新たに創設するなど、人口減少に対し積極的に取り組んでおられますが、移住・定住対策の当初予算に対する執行状況はいかがですか。

答 令和5年度では、住宅取得促進奨励金をはじめ移住定住促進事業の様々な奨励金について、当初予算1132万円に対し執行率は56.7%、執行残は641万9千円

となり、今年度も約半年過ぎたが同様の傾向にある。成果については、移住・定住に結び付けるため、本事業について周知の強化を図り、この制度の目的達成を目指したい。

予算を最大限、有効に活用する



回答 (町長)

質 移住・定住対策も含め、町民の安全・安心対策としての道路等のインフラ整備の対応は万全ですか。



移住フェアの様子

答 交通インフラ整備は、安全安心を第一として町道整備基本計画に基づき取り組んでいるが、常時利用する道路は、経年劣化などで、御迷惑をかけるケースもある。予算の執行においては、不用額が出れば町民のために還元するのが基本であるため、優先順位がこれに当たれば必要な事業をしっかりとやっていき、予算を最大限、有効に活用し対応する。

高齢者のための「A-オンデマンドバス運行」と「タクシー助成券」の予算について



質問者
田代 実 議員



新たな公共交通網を構築するため、人工知能による予約制相乗りバス「A-オンデマンドバス」が、令和5年10月23日から実証実験を開始しました。しかし高齢者には利用しにくいようですので、次のことについて町長にお伺いします。

質 現在、A-オンデマンドバスは実証実験を試行中であり、「予約時間に來ないので夏・冬は待ち時間が辛い」、「遅延により病院の予約時間に遅れた」、「帰路は遠回りになって不安」などの声があります。今後の運行や料金の見直しに関する対策と方針について。

答 高齢者等の苦情に対応するため、最初に予約された車両以外の車両2台も含めて、柔軟に予約に対応できるよう、新たなシステムの導入を行いました。

タクシー利用券の助成は11月から実施する



回答 (町長)

11月から松田と大井の運行エリアを開成まで拡大して、病院・買い物・駅への利便性を図ると

答 令和6年度に廃止された「高齢者等福祉タクシー助成券」は、高齢者には使い勝手が良いので来年度予算に復活するお考えは。

もに、町内ルートの料金300円を500円(高齢者等割引後200円)に改定する。

大井や開成にまたがる場合は、1エリアにつき300円増の800円を予定している。

質 令和6年度に廃止された「高齢者等福祉タクシー助成券」は、高齢者には使い勝手が良いので来年度予算に復活するお考えは。

答 タクシー利用券の復活は、11月から令和7年3月まで、1回200円(月8回分で5か月・40回分)を助成していきたい。

令和7年度予算は、高齢者や妊産婦の方のタクシー利用券の11月からの利用状況を見て、判断していく。



詳しい料金改定についてはこちら